

# 和地ひとみレポート No.317

東大和市内のセブン・イレブン 15 店舗にペットボトル回収機を設置  
市民の意識向上、行動でゴミ処理経費は削減できる



## ■全国的にも先進的な取組み

…以前、このレポートで4月から稼働した「小平・村山・大和衛生組合の資源物中間処理施設“エコプラザスリーハーモニー”」について取り上げた際に「東京都と埼玉県のセブン・イレブン 300 店舗にペットボトル回収ボックスが実験的に設置されている」「東大和市でもこのような官民連携のゴミ削減策を導入してほしい」という話題に触れさせていただきました。  
その際、私は市のごみ対策課にもこのような取組みの導入の検討を依頼したところ、実は、市のごみ対策課では既に検討を進めているとの回答がありました。  
この回答を聞いて私は「東大和市のゴミ対策課も色々と研究しているのだな」と嬉しく思ったところです。  
…そして先日、5月23日には立野にあるセブン・イレブン店舗前で「株式会社セブン・イレブン・ジャパンとの協働によるペットボトル回収事業」の発表セレモニーが行われました。この事業は全国的に先進的な事例ということもあり、当日は、多くの報道関係者が集まる中、今回の新たなスキームがお披露目されました。  
…東大和市内にはセブン・イレブンの店舗が15店舗ありますが、6月中にはその全店にペットボトル回収ボックスが設置されるとのことです。

## ■産官民連携による新たなスキームとは

…今回の取組みは東大和市、(株)セブン・イレブン・ジャパンのほか、日本財団、東大和市清掃事業組合の合計4つの団体がそれぞれの役割を担当する産官民連携による新たなスキームです。

### ◆日本財団

セブン・イレブン店頭で設置するペットボトル自動回収機の費用の半分を拠出。

### ◆東大和市

事業周知及び適正排出の広報。

### ◆セブン・イレブン店舗

回収機の運用及び改修資源の管理。

### ◆東大和市清掃事業組合

資源（ペットボトル）の収集・運搬。

…今回の取組みを支援して下さった日本財団については海洋ごみ対策に力を入れていることから、海洋ごみの要因の一つとなっているペットボトルごみの資源化への取組みという点に共感いただき参加していただきました。また、上記の各団体の役割分担からもわかるように、産官の皆様が連携くださったことにより、事実上、今回の取組みは東大和市の経費負担なく実現することができました。

【今回の取組みについてのプレスリリース】

東大和市×日本財団×セブン・イレブン・ジャパン  
×東大和市清掃事業協同組合

東大和市における

『ペットボトル回収』を促進！

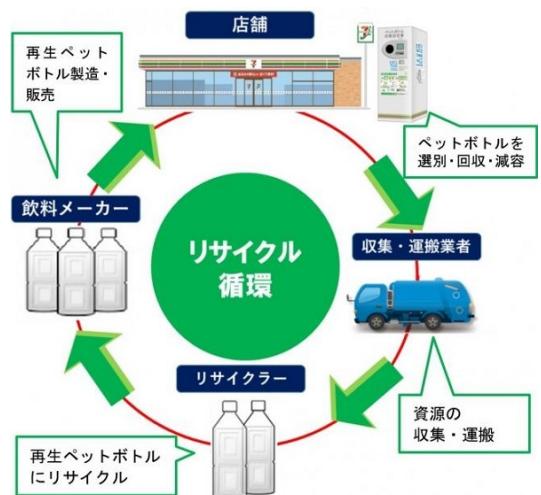
～産官民が連携した新たな回収スキームを実現～

東大和市（市長：尾崎 保夫）と日本財団、株式会社セブン・イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：永松 文彦）、及び東大和市清掃事業協同組合（東京都東大和市、代表理事：加藤 宣行）、は、相互の連携を強化し、“豊かで持続可能な社会”推進の一環として、2019年6月4日（火）より、東大和市内のセブン・イレブン全店（4月末現在：15店舗）に“Bottle to Bottle”のリサイクル促進を目的とした『ペットボトル自動回収機』を順次設置いたします。

セブン・イレブンでは、2015年より『ペットボトル自動回収機』の設置を開始し、現在東京都と埼玉県の約300店舗（2019年4月末）で稼働しております。今回、様々なステークホルダーと共に海洋ごみ対策を推進する日本財団とセブン・イレブンが連携し、更に、本取り組みの趣旨に賛同する東大和市及び東大和市清掃事業協同組合の協力のもと、産官民が連携した新たな回収スキームが実現しました。

四者は、地域社会と一体になったサーキュラーエコノミー活動に取り組み、“循環型社会”の実現と海洋ごみの削減を推進してまいります。

なお、今回の取り組みと併せてセブン・イレブンと日本財団は、地域清掃等の海洋ごみ対策にも共同で取り組んでまいります。



## ■嬉しいニュースの一方で…

…今までも市内のスーパーマーケットなどのご協力で、ペットボトルやビン、缶、食品トレイ、牛乳パックなどの回収ボックスを設置いただいているところですが、今回、市内の15店舗のセブン・イレブンにペットボトルの回収ボックスが設置されることにより、より多くの市民の方が手軽にペットボトルのリサイクルに参加できるようになります。そうすることで、私たち市民は環境負荷の軽減やサーキュラーエコノミー（循環型社会、循環型経済）の実現に寄与できるだけではなく、東大和市のごみ処理経費の削減も実現できます。

…現在、東大和市から排出されるペットボトルごみは、4月から稼働している前述の桜が丘にある中間処理施設“エコプラザ スリーハーモニー”で分別、圧縮梱包処理をされ、リサイクル業者に搬出されています。

先日、東大和市議会は新たなこの施設の見学を実施し、私も実際の処理状況などを確認してきましたが、そこでは、多くの問題が見られました。

…この施設は東大和市、小平市、武蔵村山市の3市の容器包装プラスチックごみとペットボトルごみが集めて処理しているのですが、その分別処理の過程では多くの“間違ったごみ”=異物が混入している状況が見られました。例えば、包丁、電池、小さな家電製品、はたまた漬物石のような大きさの石などまでもが混入しているとのことです。

…このセンターの設計では月単位で持ち込まれるごみのうち最大10%程度の異物混入を前提にしていたそうで、これもかなり多めの試算とのことです。しかし実際に稼働してみた結果、約17%の異物が混入されている状況とのことで、直近の5月1日～28日の期間の異物混入量は890kgにもなっているとのことです。

…東大和市は、このセンター稼働前は独自のリサイクルセンターで分別作業をしていましたが、その際にはここまでの異物は混入していなかったとのことです。この新たなセンターには上記のとおり小平市、武蔵村山市のごみも搬入されているので、この異物混入は東大和市だけの問題ではありません。今後、センターでは、搬入される際のごみ収集車を抜き打ちでチェックし、言葉は悪いのですが「犯人探し」をするとのことでした。

## ■ごみ処理経費は削減できる

…このような異物を取り除く作業は、いくら高性能比重差選別装置を導入しているとはいえ、最終的には人による手選別で行われます。センターではシルバー人材センターに作業を委託しており、40名の2班体制で行うこの作業には、1カ月あたり約400万円かかっています。センター見学の際の説明でも「市民の皆さんがきちんと分別してごみを出してくれば、この手選別作業は必要なくなる」とのことでした。異物混入がなくなれば、単純計算で、3市のごみ処理経費は400万円×12カ月＝

年間4800万円削減できることとなります。

…また「小平・村山・大和衛生組合」では、基本的に各市の持ち込み量をもとに各市のごみ処理経費の負担を計算しています。3市全体のごみ処理経費の削減=異物を入れない、きちんと分別をするということと同時に、東大和市単体で考えた場合、ペットボトルを市のごみ収集の時にみだりに回収サービスをしている店舗に持って行くことで、センターへの東大和市の持ち込み量の削減にもつながり、東大和市が支払うごみ処理経費の削減が可能となります。

## ■必要だが、何も生まない

…生活をしていくうえで、ごみをゼロにすることは難しいことです。世界的に環境負荷による様々な問題が課題になっている中、例えばプラスチック製の買い物袋の使用禁止や、プラスチックのストローを廃止するなどの取組みを行っている国や地域もありますが、コストなどの兼ね合いもあり、一気にその動きが拡大するということは難しいようです。

…ごみ処理は各自治体が責任を持って行わなければならない重要な事業で多くのコストがかかっているものですが、このコストからは何も生まれません。東大和市の財政状況は改善してきてはいるものの、ゆとりはないため、実現したい事業などが先送りになっている状況です。このような状況を改善したいと思った時、私たち一人ひとりが意識し、行動することでダイレクトに市の財政負担を軽減することができるが、今回紹介したごみの正しい分別とペットボトルなどのリサイクルを積極的に行うことです。確かに、一人ひとりが行動したからといって、一気に億単位の経費削減につながるというものではないかもしれませんが、このような地道な取組みを複数重ねていかなければ、現実的に様々な事業に充てる財源は確保できません。

…先に述べたように、今回の産官民連携の取組みは全国的に見ても先進的なものです。市民の皆様にはこの取組みを東大和市が実現したことを誇りに思っただけで、大いに活用していただきたいと思います。

5月23日に行われた事業発表セレモニー



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp)

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102